

科目	専攻科特別研究I (Graduation Thesis for Advanced Course I)		
担当教員	酒造 敏廣 特任教授,水越 睦視 教授,鳥居 宣之 教授,柿木 哲哉 教授,上中 宏二郎 教授,野並 賢 准教授,宇野 宏司 准教授,小塚 みすず 准教授,高田 知紀 准教授		
対象学年等	都市工学専攻・1年・通年・必修・7単位		
学習・教育目標	B1(15%), B2(15%), B4(5%), C2(65%)	JABEE基準	(d),(e),(f),(g),(i)
授業の概要と方針	本科で修得した知識や技術を基礎として,さらに高度な専門工学分野の研究を指導教官の下で行う.専門知識の総合化により研究開発およびデザイン能力を高める.研究課題における問題を学生自ら発見し,広い視野をもって理論的・体系的に問題解決する能力を養う.研究課題の設定にあたっては研究の新規性,有用性,理論的検討を重視する.研究の内容や進捗状況を確認し,プレゼンテーション能力の向上を図るため発表会を実施する.研究成果を報告書にまとめ提出する.		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【C2】設定した研究テーマについて,専門知識をもとに研究遂行能力を養う.		研究課題の探究力,実験計画力,研究遂行力を日常の研究活動実績から,および最終の報告書から評価する.
2	【B1】研究の経過を整理して報告し,研究内容を簡潔に発表する能力を身に付ける.		研究発表会において内容と構成,発表に対して評価する.
3	【B2】研究内容に関する質問に対して的確に回答できる.		研究発表会において質疑応答に対して評価する.
4	【B4】自らの研究課題と関連した英語の文献,論文を読む能力を身に付ける.		関連した英語論文を自らの研究に役立てているか,日常の研究活動状況や発表会での引用実績から評価する.
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は研究課題の探求・実験計画・研究遂行実績および最終報告書の充実度で70%,特別研究発表会の充実度で30%(中間10%・最終20%)として評価する.100点満点で60点以上を合格とする.		
テキスト			
参考書			
関連科目	都市工学に関する科目全て		
履修上の注意事項	本教科内容に関してI,IIの期間中に,最低1回の学外発表(関連学協会における口頭またはポスター発表)を義務付ける.		

授業計画(専攻科特別研究I)

内容(テーマ,目標,準備など)

- ・住民主導による景観保全の方法とそのしくみに関する研究(指導教員:高田知紀)
- ・交通結節駅の店舗立地からみたサードプレイスの現状と必要性(指導教員:小塚みすず)
- ・ウォーターフロント地区の開発・整備と地域構造の変化に関する研究(指導教員:小塚みすず)

**備考** 本科目の修得には,210 時間の授業の受講と 105 時間の自己学習が必要である.  
中間試験および定期試験は実施しない.